

「おもしろ電波教室とケーブルテレビ施設見学」を開催



小雪が降る中、たくさんの方に参加いただきました



デンパくんも
おもしろ電波教室に参加！！



電波の性質を理解する電波実験



金沢ケーブルテレビネットの
“まちなかスタジオ”で
アナウンサーやカメラマンを体験

北陸総合通信局（局長：齊藤 一雅）では、平成23年12月27日（火）に、金沢ケーブルテレビネット株式会社（代表取締役社長：和布浦 将司）と共催し、「おもしろ電波教室とケーブルテレビ施設見学」を開催しました。

このイベントは、小学高学年生を対象に、電波の性質や電波監視の重要性を理解していただくとともに、ケーブルテレビの放送制作・配信現場の見学を通して、電気通信や映像配信により一層の関心を持っていただくために企画したもので、児童23名を含む親子41名が参加しました。

まず、金沢広坂合同庁舎で開かれた「おもしろ電波教室」では、電波利用についてビデオで学習した後、電波適正利用推進員により電波実験が行われました。電波は目に見えないため、電波が発射されるとランプがつく仕組みの装置を用いて、八木アンテナの仕組みや電波はアンテナからどのように発射されるのかなど、実験を通して電波の性質を学んでいました。

また、マンパック（電波方向探知機）を使用し電波の発射源を探す体験では、児童がマンパックを持ち会場内を探索すると、実はデンパくんが発射源だったという一幕もありました。その後、不法無線局探索車（M4）内のシステム見学を行い、不法電波の監視や発見方法を学びました。

続いて、香林坊ラモーダ3階の金沢ケーブルテレビネット“まちなかスタジオ”へ移動し、アナウンサー体験をしました。児童は1人ずつ、ニュース原稿をカメラに向かって堂々と読み上げたり、スタジオカメラに興味津々な様子で操作しました。将来のアナウンサーやカメラマンがこの中から誕生するかもしれません。

ラモーダ5階では、普段は見るできない放送センターの調整室を見学し、たくさんのモニター画面を前に、スタジオで撮影した映像の編集作業の話の聞いたり、北國新聞会館屋上にあるお天気カメラのリモート操作を行いました。

問い合わせ先：総務部総務課 076-233-4410